

幌別東小学校

第2回学校適正配置に関する地区別検討委員会議事録

日時 令和3年10月29日（金）18時00分～19時30分

会場 鉄南ふれあいセンターホール（3F）

○山田会長 それでは時間となりましたので、幌別東小学校の第2回学校適正配置に関する地区別検討委員会を開催いたします。

前回は、会長及び副会長を選出し、本委員会の進め方について整理した上で、まずは子どもたちの教育環境を確保する観点から、統合自体の必要性について協議を行いました。協議にあたっては、事務局から、幌別東小学校の現状と今後の見通しについて説明があったほか、事前に教育委員会で行った保護者アンケートの結果などについて説明がありました。

委員の皆様からは、様々のご意見がありました。アンケート結果やその内容に関しご指摘があったほか、未就学児童の保護者を対象に意見を聞くべきではないかのご指摘もありました。さらに小学校保護者に対しても、もっと情報提供が必要ではとのご意見もありました。

また、統合ありきではなく、それ以外の方策も含めて議論すべきではないかとの意見もあり、具体的に幌別小学校区の一部を東小学校区に編入する可能性などに関しても指摘がありました。

こうした前回の議論を踏まえ、本日は、新たなアンケートなどの実施や校区調整の可能性などに関し協議を行いたいと思います。

それではさっそく「会議次第2 協議事項」に移ります。はじめに、「(1) アンケート等の実施について」、前回の議論を踏まえ、事務局より提案がありますので、説明をお願いします。

○事務局 （事務局より資料に基づき説明）

○山田会長 事務局より、「校区内の未就学児童保護者を対象としたアンケート」と「幌別東小学校及び未就学児童保護者向けの意見交換会」に関し提案がありました。事務局からは、それぞれの内容に関し具体的な提案がありましたが、はじめに「校区内の未就学児童保護者を対象としたアンケート」の内容に関し、委員の皆様から質問、ご意見はありませんでしょうか？

○委 員 子どもの教育のあり方に関するアンケートのうちQ4について、回答に「高校等の大きな集団に進む時になじめるか不安」という選択肢がありますが、対象が未就学児童の保護者ということを考えると、ちょっと先のこと過ぎて、うまくイメージできないのではないのでしょうか。例えば、中学といったもう少し近い未来のことを例示する方がよいのではないかと思いますが。

○山田会長 この件について、事務局よりお願いします。

○事務局 ご指摘の件、アンケートの対象者が未就学児童の保護者であることを考えると、高校という例示では遠い将来過ぎてイメージしづらいのではというご指摘かと思えます。ご指摘どおり、「中学校等の大きな集団」という表現に変更させていただきます。

○山田会長 ありがとうございます。その他にご質問、ご意見ございませんか。
前回委員会で皆さんからいただいた意見を踏まえて、事務局で内容に修正を加えたものになりますので、もしご意見等が無ければ、この内容でアンケート及び意見交換会の実施に進みたいと思います。事務局案で進めるということによろしいでしょうか？

(異議なし)

○山田会長 では、本日あらためて提案のあった事務局案を基本に、アンケートと意見交換

会を実施したいと思います。また、意見交換会については、地区別検討委員会と教育委員会の共催という形になりますので、委員の皆様にも積極的にご参加いただければと思います。ご協力の程よろしくお願いいたします。

続きまして、協議事項「(2) 幌別東小学校 校区調整の可能性について」に移ります。前回の議論を踏まえ、事務局より、幌別小学校区の一部を東小学校に編入した場合のシミュレーションなどに関し説明があります。事務局、お願いします。

○事務局 (事務局より資料に基づき説明)

○山田会長 事務局より、幌別小学校区の一部を東小学校区に転入した場合の児童数の推移や両校の小規模化への影響、また、統合時に使用する校舎の問題に関連して、学校施設の築年数や津波発生時の安全上の問題等も含めて説明がありました。これに関し、委員の皆様から質問、ご意見はありませんでしょうか。学校施設に関して言えば、東小学校の校舎も建築から長期間が経過し、老朽化が相当程度進んでいる。いずれにしても近い将来には施設の建替を検討しなければならない中で、児童数の減少も相当程度進んできていることから、時期を逸せずに幌別小学校との統合を検討するという説明かと思います。いかがでしょうか？

(委員からの意見等なし)

○山田会長 事務局から、幌別小学校区の一部を東小学校区に編入した場合のシミュレーションなどに関しても説明がありました。校区調整を行ったとしても、東小学校と幌別小学校で、ともに小規模化が進む結果になるという内容でした。また、両校統合時に使用する校舎についてですが、施設の築年数や海岸に近い立地を考えれば、東小学校校舎を利用するのは難しいのではないかと、また、幌別小学校校舎の築年数を考えれば、施設を新築するという事にはならないのではないかと説明だったと思います。こうしたことを総合的に考え、次回以降は、両校統合を基本的な方向性として、統合にあたっての具体的な課題の検証に移っていったら

うかと思いますが、委員の皆様、いかがでしょうか？

○委員 私としては、幌別小学校との統合は避けて通れないものと思っています。東小学校のスローガンは、「地域を愛し、地域に支えられ、地域とともにある学校」であり、地域との結びつきが特に強い学校であると思っています。私自身、この地域から学校が無くなるのはさみしい。しかし、このまま児童数の減少が続けば、令和7年度には複式学級が発生し、教室の前後に黒板を設置して、一人の先生が複数学年の授業を同時進行することになる。そうなれば、地域の子どもの学力、社会性に影響が生じるのではないか。この地域に住む者としては、そういうことも考えなければならないと思っています。また、この鉄南地域、私も長年この地域に住んでいるわけですが、これから居住者や居住世帯が増えるとは考えにくいのかな、期待できないのかなと思っています。例えば、幌別東団地も老朽化が進んでいますし、市の住宅計画上、どのように位置付けられているのかも考えなければならないと思います。私自身、非常にさみしい思いはありますが、子どもたちのことを考えれば、そのようなことも言っていられないのかなと思います。本日出席している町内会役員の皆さんをはじめ、地域代表として参加している私たちとしては、地域から学校が無くなるのは本当にさみしいですけれども、やはり子どもたちのことを考えれば、保護者のお父さんお母さんとともに、統合に向けた取組を前に進めて行かなければならないと思っています。学校は、子どもたちの学びの場であると同時に、まちづくりの中心でもありますし、東小学校は特に地域との繋がりが強い学校ですので、統合ということになれば、様々な地域課題もあろうかと思いますが、私たち地域住民としても、皆さんと相談しながら、進めて行かなければならないものと思っています。

○山田会長 いま委員より、統合やむなしという意見がありましたが、次回以降は、両校統合を基本的な方向性として、統合にあたっての具体的な課題の検証に移っていくということによろしいでしょうか？

(異議なしの声あり)

○山田会長 異議なしとの声がありましたので、次回以降は、統合にあたっての具体的な課題について議論を行っていきたいと思います。次回のテーマに関し、事務局に何か考えはありますか？

○事務局 いま会長から、統合を基本的な方向性として、統合にあたっての具体的な課題について検証していくという話がございましたので、次回以降は、具体的なテーマを設定して、その課題をどのように解決していくのかというような話をしていきたいと思います。

統合にあたっての課題としては、「教育上の課題」と「まちづくりの課題」があるかと思いますが、まずは「教育上の課題」について議論を行うこととし、次回の会議では、「通学距離・通学時間」と「踏切への対応」をテーマにしてはどうかと考えております。

他にも教育上の課題としては、例えば駒踊り等の特色ある教育をどのように継続していくのかですとか、あるいは、児童館や児童クラブ、放課後の居場所づくりの問題をどのようにしていくのかというような問題がありますけれども、次回に関しては、保護者の皆様の関心が高いであろうテーマ、「通学距離・通学時間」と「踏切への対応」について、テーマにしてはどうかと考えております。

○山田会長 事務局より次回の内容について説明がありました。次回については、統合に際しての教育上の課題、子ども達が通学するにあたっての通学距離や通学時間、通学時の安全上の問題をテーマに協議を行うということかと思いますが。今回は通学時の課題にテーマを絞りますが、それ以降は、地域と子どもたちをどう繋げていくのか、地域として子どもたちをどう支えていくのか、こうしたことも検討していかなければならないと思っております。例えば、駒踊りについては、幌別発祥の地である鉄南地区で受け継がれてきた郷土文化であり、東小学校の協力も得ながら継承してきましたが、幌別小学校と統合になった時に、幌別小学校の子どもたちとともにこれを守っていくということになるのか、やはり鉄南地区の子どもたちで継承していくのか。今後はそういった問題も話し合っていかなければなら

ないと思います。そのように今後話し合わなければならないテーマは多岐にわたると思いますが、まず今回は通学距離や通学時間、通学時の安全上の問題にテーマを絞って協議したいと思います。これに関し委員の皆さんから質問などはありませんでしょうか？

○委 員 統合するしないではなく、統合する前提の話し合いになって行くということでもよろしいでしょうか。

○山田会長 はい。併行して、未就学児童の保護者の意見を聞くといったことも行っていきますが、統合を前提に進んでいきたいと思います。

この検討委員会は、保護者や地域を代表する皆さんにお集まりいただいているものですので、一定の結論を出して行かなければならない部分もある。そうした意味でも、もし委員の皆さんから異論がなければ、統合の方向性を持って議論を前に進めていきたいと思います。委員の皆さんから意見があればお願いします。

○委 員 未就学児童の保護者を対象にしたアンケートについてですが、小学校の実態に関しては、未就学児童の保護者ではわからない部分もあろうかと思えます。このため、アンケートの実施に際しては、アンケートとともに、何か資料を添付する必要があろうかと思えます。例えば、前回説明のあった児童数のシミュレーションや今回説明のあった校区調整についても、議論に参加していなければわかりづらいところがありますので、もう少しわかりやすい資料をアンケートに添付してもらえればと思います。

○山田会長 アンケートの内容について、回答するにあたり、状況を理解するための資料を添付すべきではないかとの意見ですが、事務局として考えがありましたらお願いします。

○事務局 事務局としては、四角枠の中の説明である程度状況を理解してもらい、回答いただくという考え方で作成しました。ただ、言葉も限られますので、なかなかわ

かりにくいところがあるかと思います。委員からご指摘があったように、東小
学校の現状や今後の見通しに関し、これまで作成したものも含め、よりわかりや
すい資料をアンケートに添付することを考えたいと思います。

○山田会長 添付資料については、再度事務局で検討してもらいます。その他にありません
でしょうか？

○委 員 先日、新入生の就学時健診があり、新入学児童の保護者と話す機会があったの
ですが、東小学校の統合に関し不安に思っている方が多かったです。この委員会
では、統合の方向性で協議していくということになりましたが、統合するという
結論がまとまるのはいつなのか、統合時期は令和7年度までとされていますが、
その時期が早まる可能性はあるのか、そうしたことを不安に感じている方が多く
いました。就学時健診では、子どもの検査中に30分程度の待ち時間があります
ので、その間に説明を行ったり、保護者の不安を聞き取ることもできたのではな
いかと思います。再度、就学時健診が予定されているようですので、そういう機
会を使って、説明を行ったり、聞き取りを行ったりしてはどうかと思いますが。

○山田会長 今後のスケジュールについて、統合時期に関しては、遅くとも令和7年度まで
とされていますが、時期が早まる可能性はあるのか、またそれが決まるのはいつ
なのかという質問です。保護者としては不安なところかと思っています。委員の質問
に対して事務局お願いします。

○事 務 局 令和7年度までとされている統合時期が早まる可能性があるのかということ
ですが、この委員会での議論の進展にもよりますけれども、早まる可能性はあろ
うと考えております。ただ、早まったとしても令和6年4月、最大で1年なのかな
と思っております。というのは、統合に際しては、様々な準備が必要になります
し、統合することがはっきり決まった後も、子ども同士、保護者同士の交流な
どが必要となりますので、早まったとしても最大で1年、令和6年4月であらう
と考えております。

それから、未就学児童の保護者の方への周知方法ですけれども、就学時健診を利用して取組を行えないかということについては、教育委員会内部でも検討を行いました。ただ、現時点ではあくまで統合を検討している段階であり、この状況で説明を行うことによって、逆に誤解を与えてしまう可能性があるのではないかと、このことを危惧し見送りました。ただ、委員ご指摘のように、様々な場を利用して知っていただくことは非常に重要だと思っておりますので、教育委員会としても、様々な機会を捉えて説明できるよう努めて行きたいと思っています。

○山田会長 スケジュールについては、特に小学校への入学を控えたお子さんをお持ちの方は不安であろうと思いますが、教育委員会としても、検討段階で確定的なことを発信するのが難しいというところはあるかと思っております。この委員会で一定の結論が出れば、保護者の皆さんが安心できる情報を発信できるようになるかと思っておりますので、その点をご理解いただければと思います。その他ございませんか。

○委 員 未就学児の保護者を対象にしたアンケートについてですが、統合の方向性を持って話し合いを進めていく中で、Q6～Q8で統合に対する賛否を聞き、反対意見が多かった時に、そうした意見をどのように消化して行くのか。統合の方向性を持って議論していくということであれば、統合を前提に、統合後に期待することは何かとか、どうしてほしいのか、また統合にあたって心配していることは何かなどを聞いた方がいいのではないかと思います。

○山田会長 事務局、ただいまの質問についてお願いします。

○事務局 ご指摘のとおり、本日の委員会で統合の方向性を持って具体的な課題について議論していくこととなりましたので、例えば、アンケートのQ6～Q8部分を削除して、委員からご指摘があったように、統合に期待することや統合に向けた不安を問う質問を設ける形で作り替えさせていただきたいと思いますが、いかがでしょうか。そのような形にすることで、今後の議論に行かされる発展的な内容になるように思います。

○山田会長 事務局から、統合の方向性を持って議論していく旨確認されたことを踏まえ、アンケートの内容を一部変更するとの説明がありましたが、これについては、その方向で検討してもらおうということによろしいでしょうか？

(異議なしの声あり)

○山田会長 それでは、事務局でアンケートの内容を再検討してください。

○事務局 それでは再検討させていただいた上で、会長、副会長と相談させていただき、アンケートを実施する方向で進めていきたいと思えます。

○山田会長 それでは、次回の会議までには、そのアンケートの答えが出てくるとみていいですか。

○事務局 次回会議は1ヵ月後の11月26日ぐらいと考えておりますが、この1カ月の間に、アンケートを実施し、結果を集約するところまでは難しいかもしれません。そうしたことを考えると、アンケートの結果については、12月の委員会でお知らせすることになるかと思えます。

○山田会長 アンケートの内容については、事務局に一任してよろしいですか。委員の皆様のご了解を得てやった方がスムーズに行くような気もしますが。

○事務局 Q6～Q8を全面的に修正することになりますので、事務局で変更案を検討させていただき、次回委員会で再度内容を確認いただいて実施するという形でもよろしいかと思えます。ただ、そうした形をとると、実施時期は1ヵ月程度ずれてしまうことにはなりますが。

○山田会長 事務局から、次回の委員会で再度アンケートの内容を確認する形で進めるとの

話もありましたが、そうすると実施時期が1カ月程度ずれてしまいますので、私としては、事務局で修正を終えたら、郵送で委員の皆様にご確認いただき、良ければすぐに実施する形ですめるのがよろしいかと思いますが、事務局としてはどうでしょうか？

○事務局 その進め方でもよろしいかと思えます。我々の方で修正案を検討し、郵送のやりとりで委員の皆様に見ていただき、ご意見をいただいて確定次第、アンケートを実施したいと思います。

○山田会長 皆さんよろしいでしょうか？

(異議なしの声あり)

○山田会長 最後に会議次第3の「その他」について、事務局より何かありますでしょうか？

○事務局 次回についてであります。先ほど少しお話ししましたが、11月26日金曜日、時間は本日同様18時から、場所についても本日同様、鉄南ふれあいセンターを予定しております。具体的な内容に関しては、先ほどお話ししましたとおり、統合の方向性で議論を進めて行くということで、具体的な課題として「通学距離・通学時間」それから「踏切への対応」、この二つをテーマに会議を行うことができればと思っています。

もう一点、意見交換会については、準備を進めさせていただきたいと思えます。これについては、東小学校とも相談させていただき、日程が決まり次第、これも郵送で委員の皆様にお知らせして、参加の意向を確認したいと思っております。

○山田会長 事務局より次回日程等について説明がありましたが、これに関し委員の皆さんから質問などはありませんでしょうか？

○委員 意見交換会ではなくて、説明会の方がいいのではないのでしょうか。意見交換で

反対の人が居たらどうすればいいのか。また議論が後戻りしてしまうのではないのでしょうか。統合に向けての説明会の方が良いのかなと思います。

○委 員 やはり内容を説明しなければならない。それで、説明会及び意見交換会という形に持って行った方が良いのではないかと思います。

○山田会長 事務局どうでしょうか？

○事 務 局 委員からのご指摘は、今回の委員会で統合の方向性で進めることになったんだから、統合自体に関し意見交換するというのは、後戻りになってしまうのではないかと言う話かと思います。ご指摘のとおりだと思いますので、説明会兼意見交換会とした上で、例えば、地区別検討委員会では統合の方向性を持って具体的な課題について検討しているといった説明を行い、統合にあたっての不安や期待をテーマとして意見交換を行わせていただくというのが、今後の議論に役立つ発展的な形かと思います。

○山田会長 ただいまの事務局からの説明に対し、ご質問ございませんか。

(委員からの質問なし)

○山田会長 それでは、事務局案で進めさせていただきます。その他、ご質問等ございませんか。

○委 員 未就学児童の保護者を対象にしたアンケートについてですが、対象者の中には、現状、東小学校に上の子が通っていて、学校の現状や小規模化の状況がわかっている方がいる一方、初めて子どもを小学校に入学させる保護者もおり、そういった方は、東小の現状がどのようなものかわからないと思います。そうした方に学校小規模化に関するアンケートをとっても難しいところがあるかと思うので、先入観を与える可能性はありますが、在校生の保護者を対象にしたアンケ

ートの結果を添付すると、東小の現状がわかってもらえるのではないのでしょうか。

○山田会長 ただいまの委員の意見に対して、事務局お願いします。

○事務局 例えば、東小学校の保護者の皆様に「ニュースレター」で在校生の保護者を対象にしたアンケートの結果をお知らせしておりますので、これを同封して見ていただくという方法もあろうかと思えます。検討させていただきたいと思えます。

○山田会長 貴重なご意見ありがとうございます。あと、ございませんか。

○委 員 アンケートの設問を再度見直しましたが、自由回答欄がありませんので、付け足していただけたら、意見交換会に当日参加できない方からも広く意見を聞くことができるものと思えます。検討していただければと思えます。

○山田会長 事務局よろしいですか。

○事務局 はい、わかりました。

○山田会長 その他、委員の皆さんから何かありませんでしょうか。無いようですので、これで「幌別東小学校 第2回学校適正配置に関する地区別検討委員会」を終了します。皆さん、長時間にわたりありがとうございます。